

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第38週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、  
過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-7

< 百日咳 >  
発生は以前に比べて大きく減少したが、乳児が罹患した場合には重症化や死亡の危険性がある



病原体情報  
P.8-12

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / アデノウイルス3型  
2006年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年



速報  
P.13

2006年9月に発生したB型インフルエンザの地域流行 - 広島県



海外感染症情報  
P.14-15

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / タイでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話  
P.16

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(38週)  
P.17-23



38週のデータ  
P.24-35



# 発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

## < 第38週コメント > 9月28日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

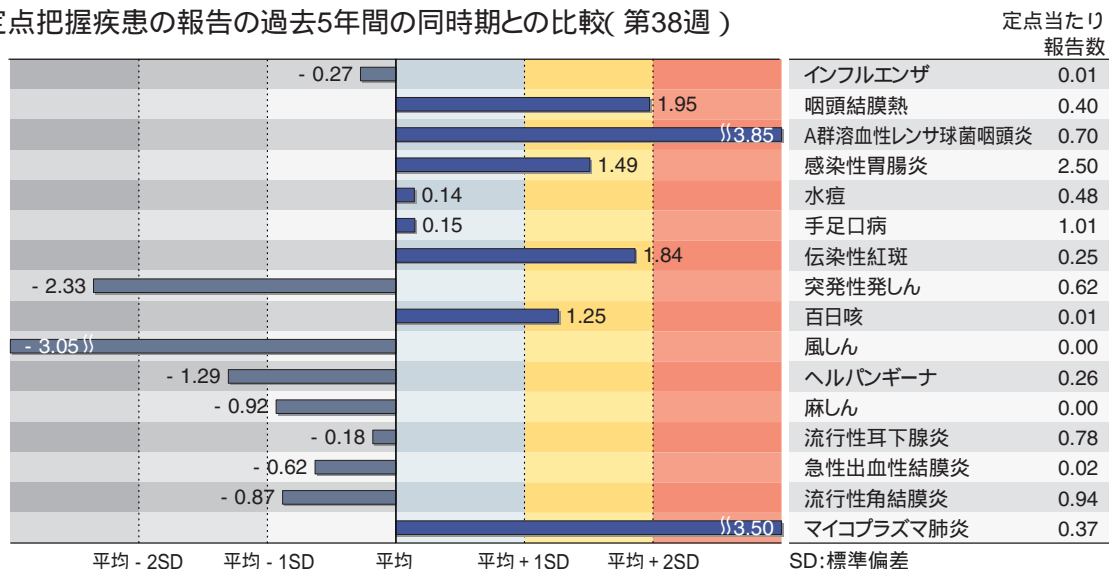
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 14例  
( 感染地域: 石川県9例\*、インド3例、エジプト1例、ネパール1例 )  
\*すべて飲食店における集団発生
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 96例( うち有症者66例、HUS 2例 )  
感染地域: 国内85例、中国11例\*  
国内の多い感染地: 静岡県( 14例 )\*\*、佐賀県( 9例 )、岩手県( 8例 )  
\*うち10例は高校の修学旅行における集団発生。  
\*\*うち11例は保育施設に関連した集団発生。  
年齢群: 10歳未満( 23例 )、10代( 38例 )、20代( 7例 )、30代( 12例 )、40代( 4例 )、50代( 6例 )、60代( 1例 )、70歳以上( 5例 )  
血清型・毒素型: O157 VT2( 34例 )、O26 VT1( 25例 )、O157 VT1・VT2( 19例 )、O111 VT1・VT2( 3例 )、O111 VT1( 2例 )、O157 VT1( 2例 )、O121 VT2( 1例 )、O145 VT1( 1例 )、その他/不明( 9例 )
- 4類感染症: A型肝炎 2例( 感染地域: 和歌山県1例、中国1例 )  
日本紅斑熱 2例( 感染地域: 愛媛県1例、長崎県1例 )  
レジオネラ症 12例( 全て肺炎型 )  
年齢群: 40代3例、50代4例、60代3例、70代1例、80代1例  
感染地域: 群馬県2例( ともに温泉 )、千葉県2例、新潟県2例、秋田県1例、福島県1例( 温泉 )、岐阜県1例、静岡県1例、愛媛県/山口県1例( 温泉 )、福岡県1例  
レプトスピラ症 1例( 感染地域: 和歌山県、感染原因: 川遊び )
- 5類感染症: アメーバ赤痢 9例( 腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症3例 )  
感染地域: 国内8例、中国1例  
感染経路: 経口1例、性的接触( 同性間 )1例、経口/性的接触( 異性間 )1例、不明6例  
ウイルス性肝炎 2例 B型1例( 感染経路: 性的接触( 異性間 ) )  
C型1例( 感染経路: 不明 )  
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例( ともに孤発性プリオン病古典型 )  
後天性免疫不全症候群 11例( すべて無症候 )  
感染地域: 国内8例、ケニア1例、国内/タイ1例、国内・国外不明1例  
感染経路: 性的接触10例( 異性間2例、同性間7例、異性間・同性間不明1例 )、不明1例  
梅毒 6例( 早期顕症I期2例、早期顕症II期2例、無症候2例 )  
破傷風 1例( 80代 )  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例  
( 遺伝子型: 不明、菌検出検体: 胆汁 )

( 補 )他に報告遅れとして、細菌性赤痢3例( 感染地域: 東京都1例、愛知県1例、中国1例 )、E型肝炎1例( 感染地域: 岡山県、感染源: 不明 )、デング熱( デング出血熱 )1例( 感染地域: フィリピン )、ライム病1例( 感染地域: ドイツ )、レプトスピラ症1例( 感染地域: 国内、感染源: ネズミ )、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例( 遺伝子型: VanC、菌検出検体: 胆管ドレナージ液 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第38週)



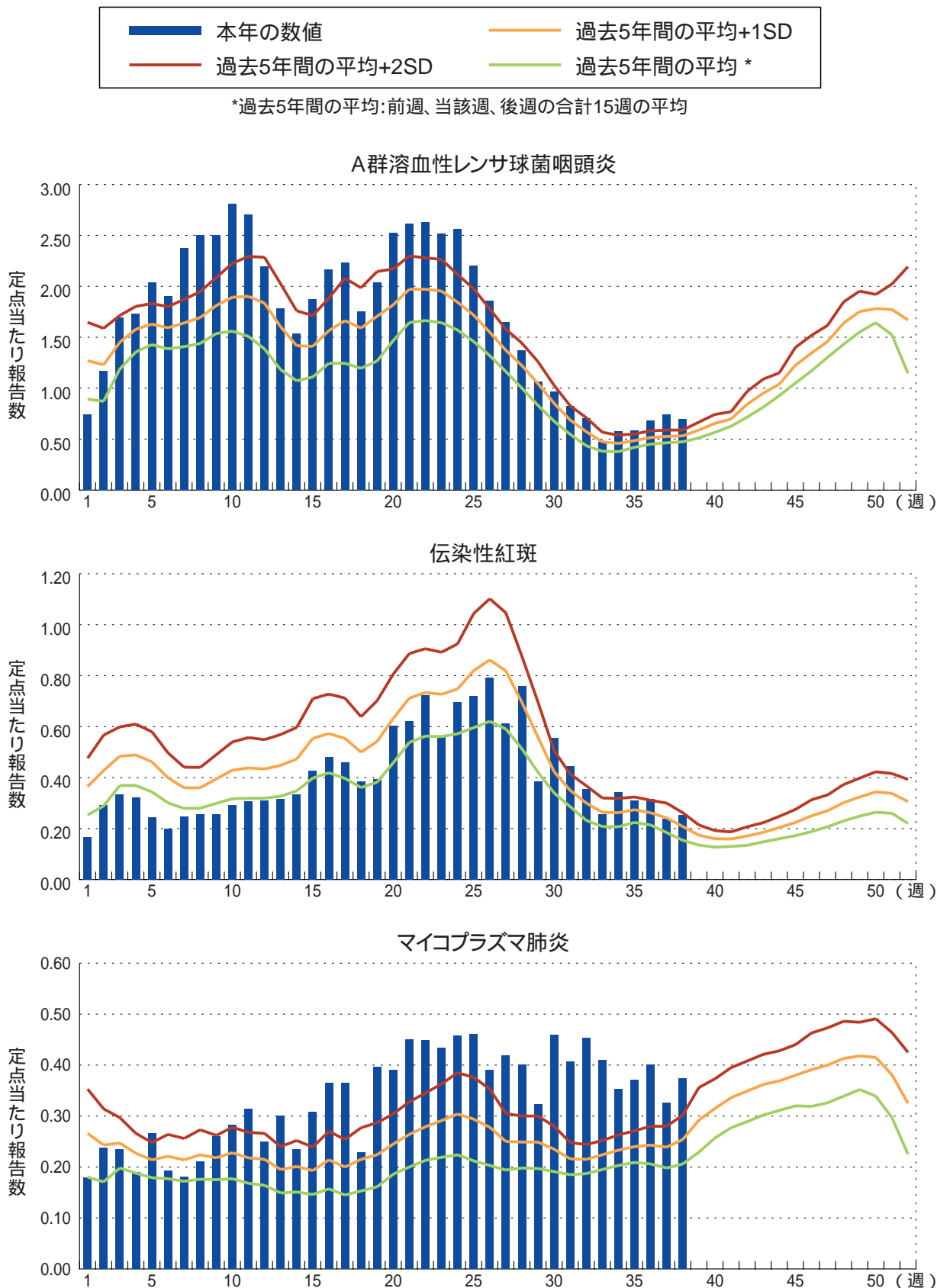
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(0.12)、岐阜県(0.05)、宮崎県(0.05)が多い。

**小児科定点報告疾患**: RSウイルス感染症は120例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の79%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続して減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では三重県(1.6)、長野県(1.3)、高知県(1.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では福島県(1.9)、鳥取県(1.8)、宮崎県(1.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では熊本県(5.6)、福井県(5.0)、三重県(5.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では石川県(0.93)、徳島県(0.83)、大分県(0.83)が多い。手足口病の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では長野県(3.9)、新潟県(3.7)、石川県(3.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.78)、岐阜県(0.68)、宮城県(0.59)、愛知県(0.58)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では千葉県(0.08)、栃木県(0.07)、和歌山県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では北海道(0.01)、千葉県(0.01)から各1例ずつの報告である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では秋田県(0.86)、宮城県(0.85)、高知県(0.47)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では秋田県(0.03)、沖縄県(0.03)、京都府(0.01)から各1例ずつの報告である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.0)、長野県(2.1)、大分県(1.8)が多い。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(1.4)、青森県(1.0)、宮城県(1.0)、新潟県(1.0)、富山県(1.0)、沖縄県(1.0)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2006年第1 ~ 38週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## 百日咳

百日咳は、好気性のグラム陰性桿菌である百日咳菌( *Bordetella pertussis* )を原因とする急性呼吸器感染症であり、特有のけいれん性咳発作( 痙咳発作 )を特徴とする。母親からの移行抗体が有効に働かないために、乳児期早期から罹患する可能性があり、この場合は生命に関わる危険性がある。主な感染経路は、鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染と接触感染である。通常は感冒様症状で始まるが、合併症がない限り発熱はなく、次第に咳が増強して、発症から1~2週のうちに痙咳期に移行する。短い咳が連続的に発生し( スタッカート )、続いて息を吸い込む時に笛のようなヒューという音が出る( 笛声 : whoop )。この様な咳嗽発作が繰り返され、しばしば嘔吐を伴う。発作は夜間に多く、この時期には息を詰めて咳をするために顔面は浮腫状となり、いわゆる百日咳様顔貌がみられる。幼若乳児ではこのような特徴的な痙咳発作を示さずに、無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止へと進展する場合がある。また、乳児では肺炎の他に脳症を発症することがあり、予後不良であるため要注意である。痙咳期が2~3週間続いた後、激しい発作や嘔吐は次第に治まって回復期に移行するが、時折発作性の咳嗽がみられ、全経過2~3カ月で治癒に至る。治療薬ではマクロライド系薬が第一選択であるが、セフェム系薬も使われる。早期に抗菌薬を服用すれば、症状の軽減と菌排出期間( 無治療の場合は3週間前後 )の短縮が期待できる。

予防として我が国では現在、百日咳( P )ワクチンを含んだDPT3種混合ワクチンが使われている。1950年に単味百日咳ワクチンが使用開始されるまでは、日本国内で年間10万例以上の発生があり、その約10%が死亡していた。ワクチンの普及と共に発生数は激減しているが、国内では未だ発病者がみられている。予防接種法の改正により、1994年10月からは、それまで2歳であったDPTワクチンの接種開始年齢が生後3カ月に引き下げられたために、報告数はさらに減少した。しかしながら、今後ワクチン接種率が低下するようなことがあれば、再流行する可能性は十分にあると思われる。

感染症発生動向調査によると、小児科定点からの年間の累積報告数は、2000年と2004年を除くと1,500例前後であり( 図1 )、過去10年間の定点当たり週別報告数をみても、2001年以降は

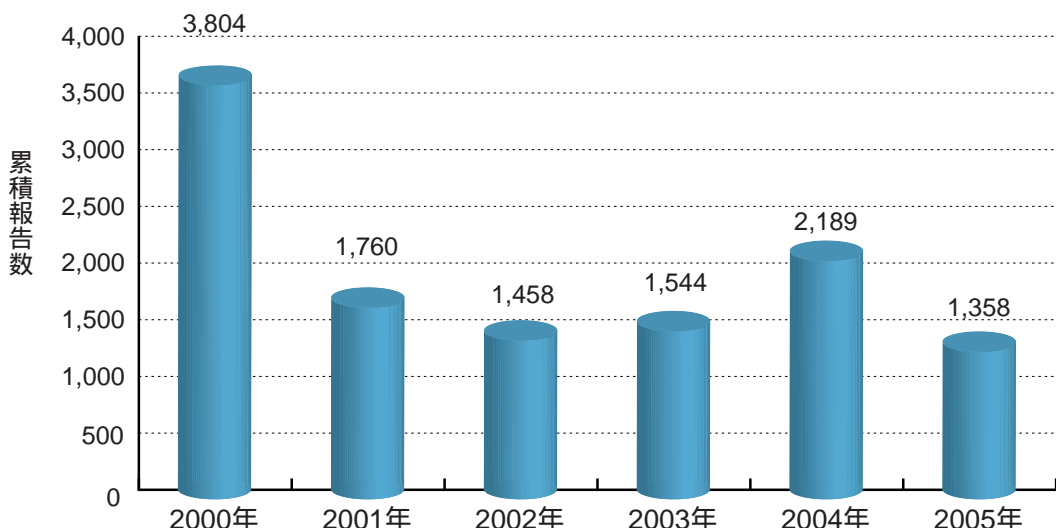


図1. 百日咳の年別発生状況( 2000 ~ 2005年 )



比較的低い水準で推移しているが、2006年第38週は過去10年間の同時期と比較してやや多くなっている( 図2 )。年齢では、2000年以降0歳の報告が最多であるが、その割合は低下傾向にある( 図3 )。逆に20歳以上の割合が年々増加しているが、2006年は今までのところ特にその傾向が強い。2006年第1 ~ 38週の定点当たり累積報告数は0.35( 累積報告数1,054 )であり、都道府県別では栃木県( 1.61 )、千葉県( 1.07 )、福岡県( 0.97 )、秋田県( 0.69 )、高知県( 0.67 )、広島県( 0.66 )の順であるが、比較的地域による差が大きい( 図4 )。

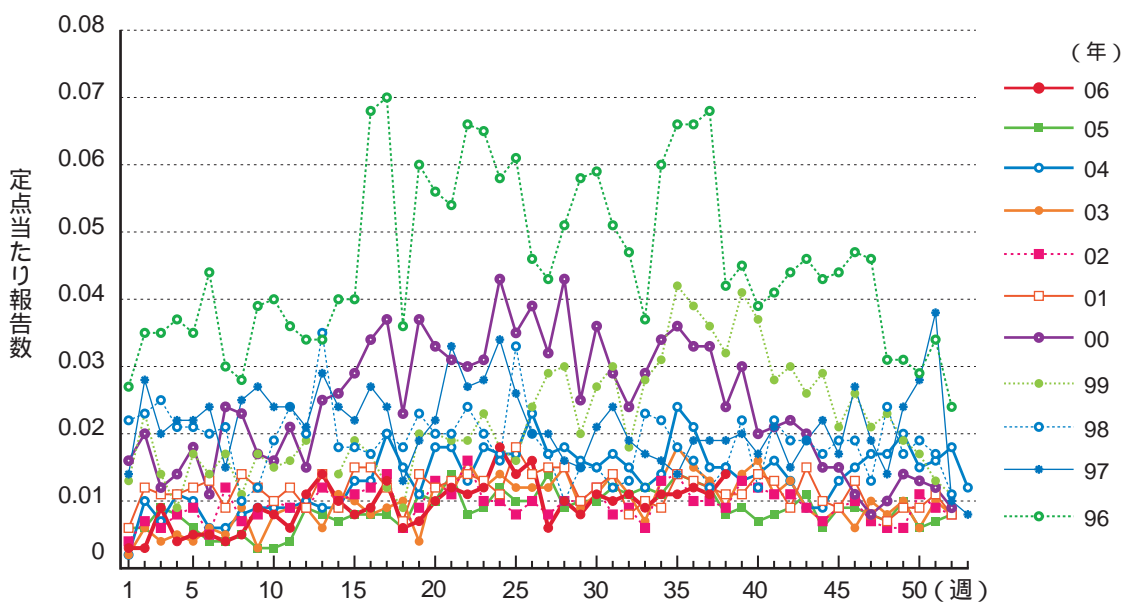


図2. 百日咳の年別・週別発生状況( 1996年 ~ 2006年第38週 )

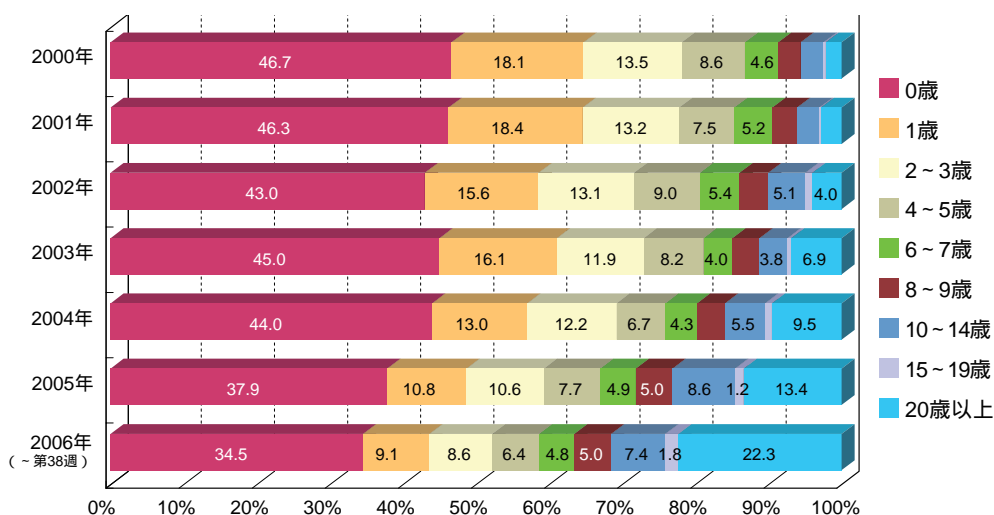


図3. 百日咳の報告症例の年別・年齢群別割合( 2000年 ~ 2006年第38週 )

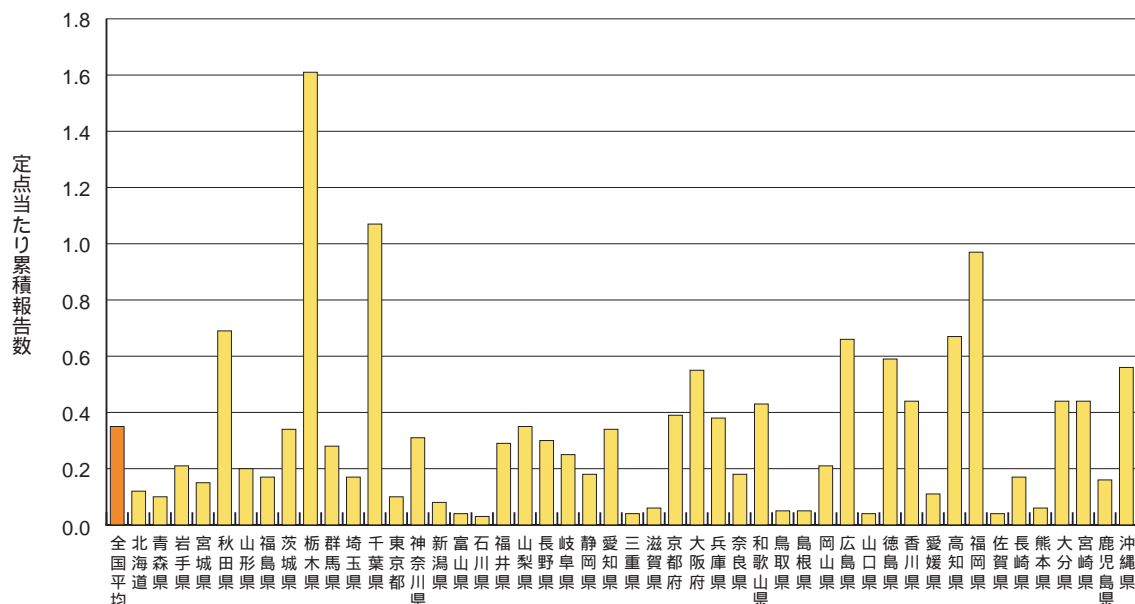


図4. 百日咳の都道府県別報告状況( 2006年第1 ~ 38週 )

百日咳の発生は以前に比べて大きく減少し、流行を示す明確なピークもみられない状況になった( 図2 )。しかし、乳児が罹患した場合には重症化や死亡の危険性があり、また典型的な症状を示さない年長児や成人例が百日咳と診断・治療されずに、感染源となる場合が少なくないと思われる。百日咳の発生動向の推移には、今後とも注意が必要である。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2006年9月28日現在報告分 )

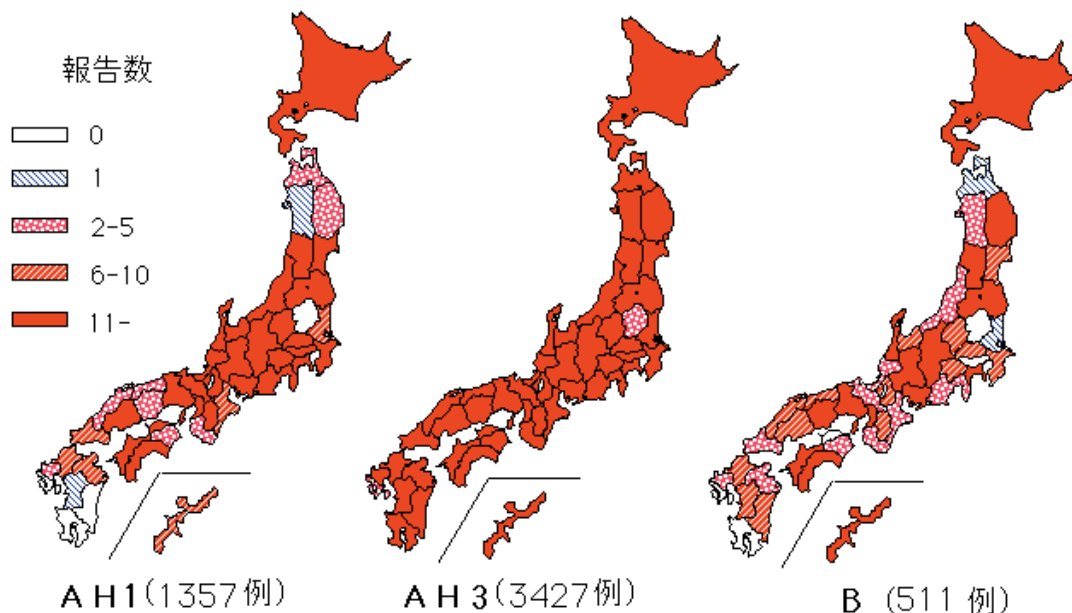
### インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

第38週に広島県でB型が検出され、地域での小流行が報告されている( 本号13ページ「速報」参照 )。

2005/06シーズンにはAH3型が3,427件、AH1型が1,357件、B型が511件報告された。AH3型は第3週をピークに第21週まで連続して報告されたが、第22~29週には報告がなく、第30週に1件報告された。AH1型は第3週と第9週に2つのピークがみられ、その後第32週まで報告が続いた。第25週以降に検出された20例中6例は、ベトナム、タイ、中国への渡航後に検出されていた。B型はシーズン後半の第21週に小さなピークがみられ、第31週まで報告が続いていた。

#### 都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン

( 病原微生物検出情報 : 2006年9月28日現在報告数 )



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

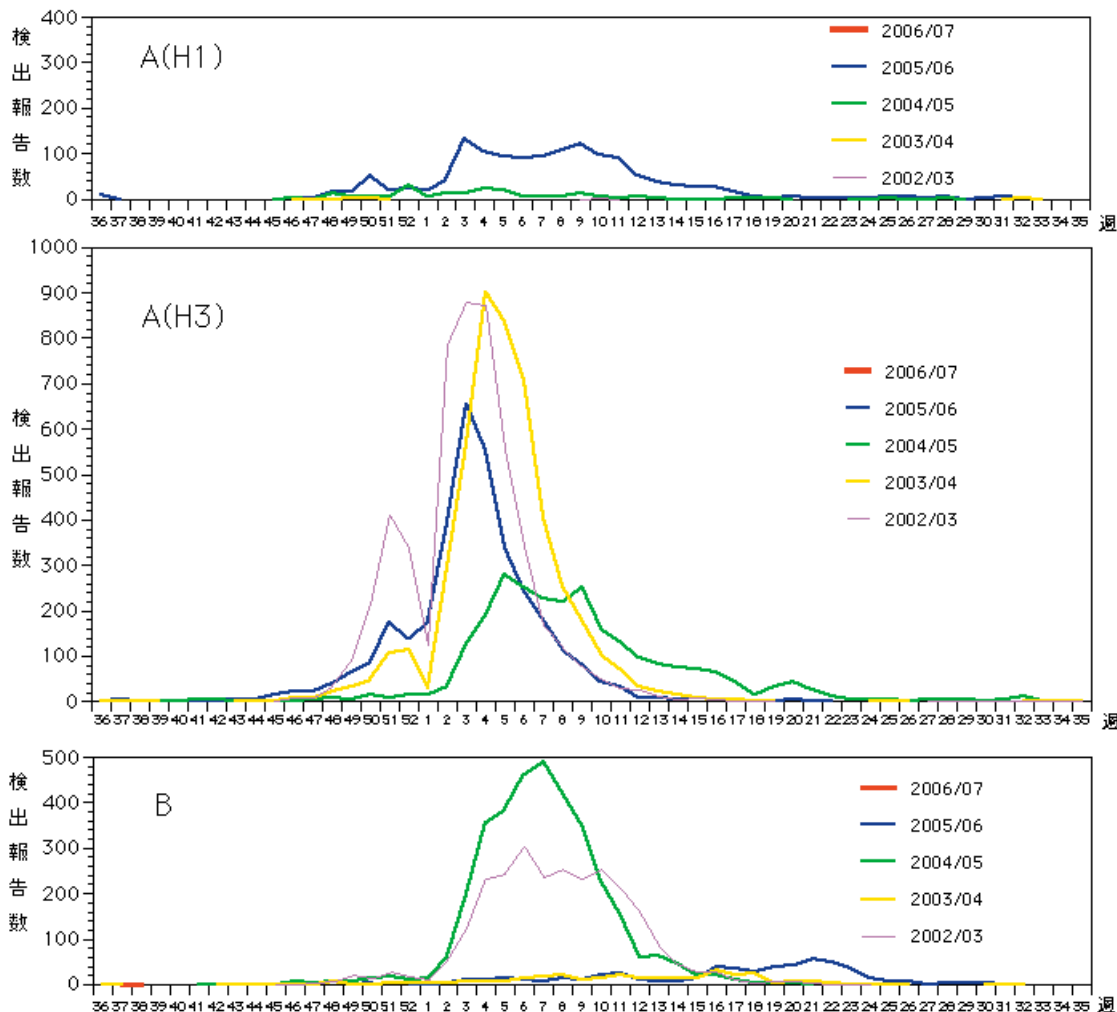


Infectious Agents Surveillance Report



**型別週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、過去4シーズンとの比較、  
2002/03～2006/07シーズン**

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



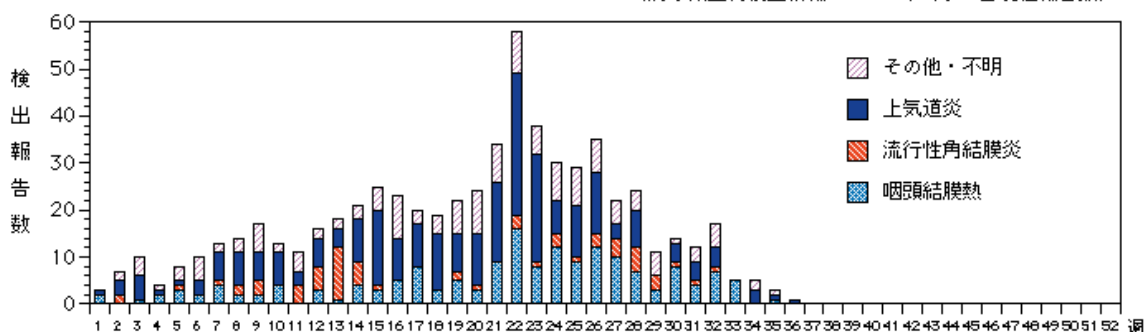
### アデノウイルス3型 2006年

2005年に引き続き2006年も、第22週をピークに広い地域から637件の検出が報告されている。

検出例の診断名は上気道炎256件、咽頭結膜熱168件、流行性角結膜炎64件、下気道炎33件、感染性胃腸炎17件、インフルエンザ13件、不明熱9件など、多彩である。

#### 週別アデノウイルス3型分離・検出報告数、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



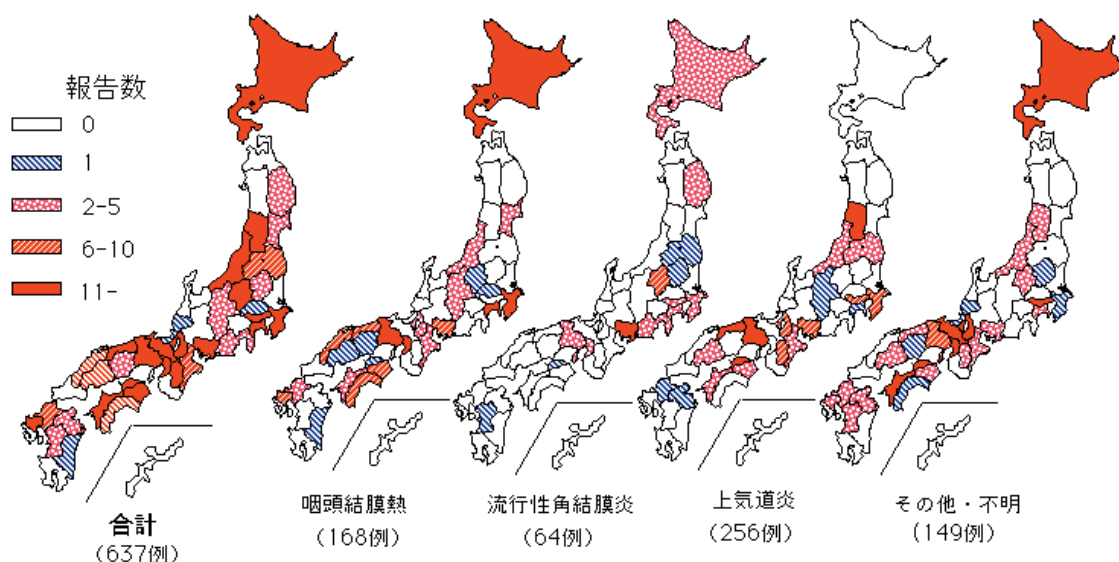
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

#### 都道府県別診断名別アデノウイルス3型分離・検出報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



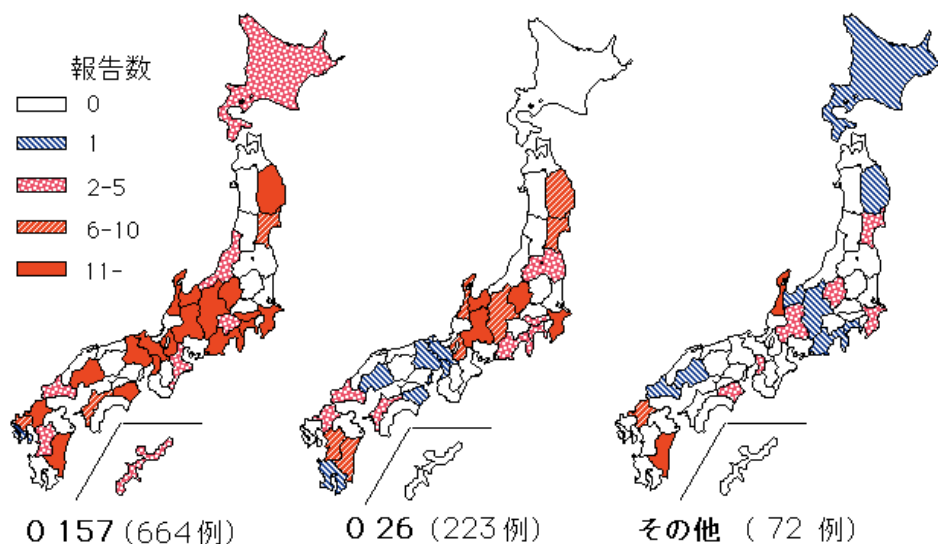
Infectious Agents Surveillance Report

**ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年**

2006年の検出総数は959件で、O157が664件、O26が223件、その他の血清型が72件報告されている。第35週に富山県で、第36~37週に徳島県で、O157による保育所での集団発生例が報告されている。

**都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年**

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



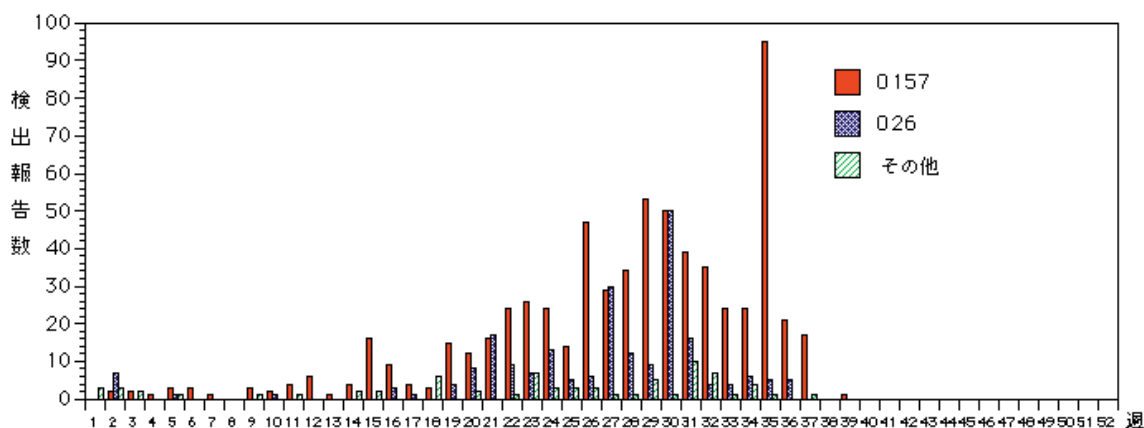
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

**週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年**

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



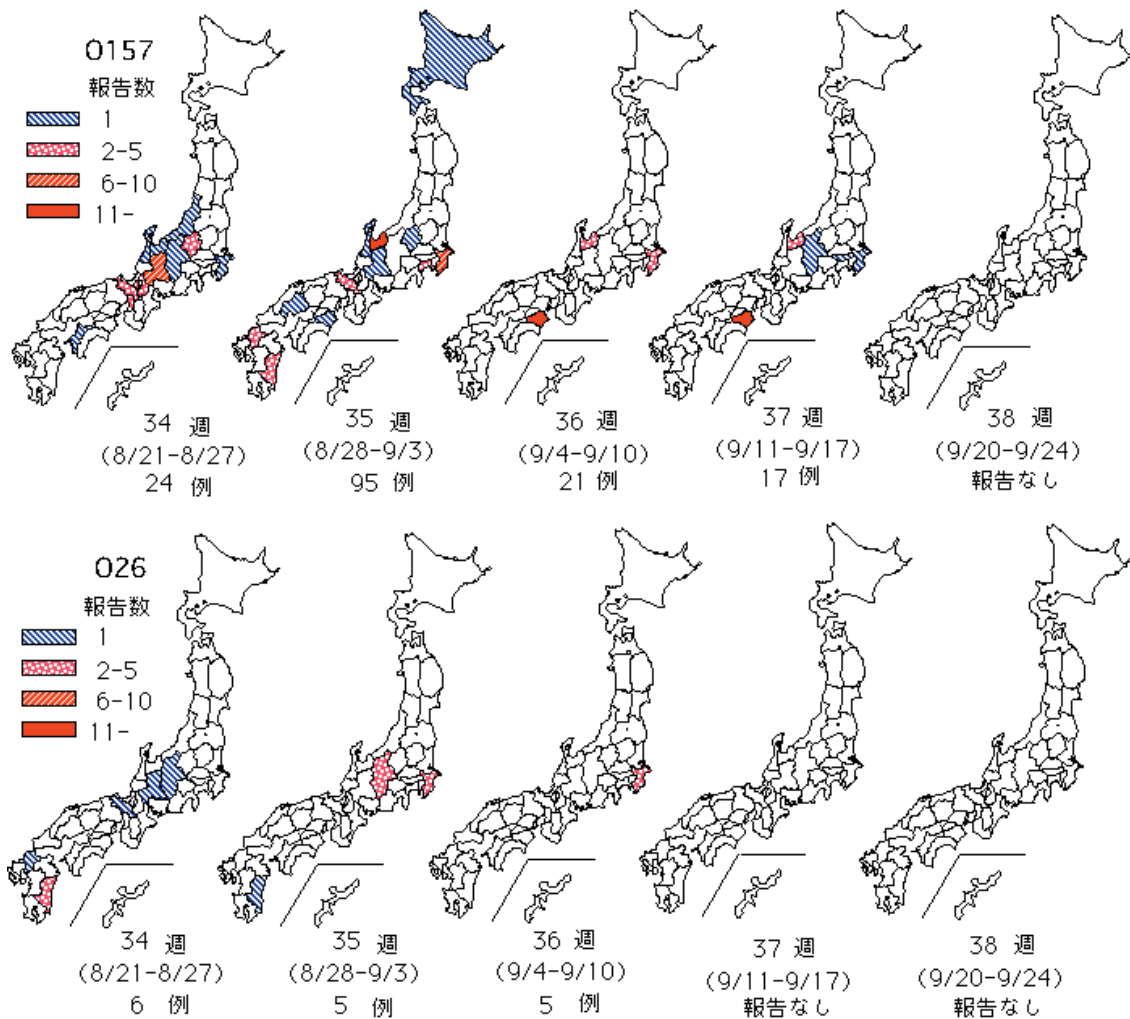
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

**都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第34週～第38週**

(病原微生物検出情報：2006年9月28日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。





## 2006年9月に発生したB型インフルエンザの地域流行 - 広島県

2006年9月に広島県南部に位置するA市内において、B型インフルエンザの地域小流行が認められ、医療機関を受診した患者2名からB型インフルエンザウイルスが分離されたので、その概要を報告する。

本県における2005/06シーズンのインフルエンザ患者の発生状況については、第4週に定点当たり42.2人のピークを迎えた後減少し、第11週には定点当たり0.68人となったが、その後も少数ながら患者の発生報告は続き、第32週にようやく終息したかに思われた。ところが、それから1カ月半後の第37週になって、A市内にあるK小児科を受診した患者5名が、インフルエンザ迅速診断キットによってB型インフルエンザであることが判明し、さらに翌第38週にも同じ小児科医院において3名、合計8名のB型インフルエンザ患者が確認された。それらの8名の内訳は、小学生が4名(6歳、8歳が2名、および11歳)、中学生が2名(13歳と14歳)、高校生が1名(16歳)および13歳の中学生の母親(45歳)であり、臨床症状は38 後半～40 台の高熱が主で、咳や鼻汁は軽度であった点が特徴的であった。

今回、K小児科医院でB型インフルエンザと診断されたのは、これらの8名だけであったが、それらの患者の問診から、同じ中学校あるいは高等学校に通っている生徒の中にも、同様の症状を呈していた者がそれぞれ複数みられたことが明らかとなり、このことからA市内において9月中旬～下旬にかけて、B型インフルエンザの小流行が起こっていたことが判明した。

迅速診断キットでB型インフルエンザと診断された患者のうち、8歳と14歳の2名については、ウイルス分離のための鼻腔吸引液が採取されたので、当センターにおいてMDCK細胞を用いてウイルス分離を行った。その結果、細胞は接種後5日目に著明なCPEを示し、培養上清は0.75%モルモット赤血球で、いずれも16HA価を示した。そこで、それらのウイルス株を国立感染症研究所から分与された2005/06シーズン用の抗血清を用いてHI試験を実施したところ、A/New Caledonia/20/99(H1N1) (ホモ価640)、A/New York/55/2004(H3N2) (ホモ価1,280)、B/Shanghai(上海)/361/2002(ホモ価320)の各抗血清に対しては、いずれもHI価<10であったが、ビクトリア系統のB/Brisbane/32/2002(ホモ価1,280)抗血清に対しては、どちらの株もHI価1,280を示したことから、分離株はビクトリア系統のB型ウイルスであることが判った。

我々は広島県内において、2005/06シーズン中の第18～28週の間、合計11株のB型インフルエンザウイルスを分離していたが、それらの株もすべてビクトリア系統であった[B/Shanghai(上海)/361/2002抗血清に対するHI価はいずれも<10、B/Brisbane/32/2002抗血清に対するHI価は640～2,560]。今回新たに分離された2株のB型ウイルス株も、HI試験の結果を見る限りでは、それまでに分離されていたビクトリア系統のB型ウイルス株と抗原的に大きな違いは認められないようである。

本年9月に発生したB型インフルエンザの流行が、2005/06シーズン最後の流行で、今後はいったん終息するものなのか、それとも2006/07シーズンの先駆けとして、さらに大きな流行へと続いていくものなのか、今後注意深く監視していく必要があると考えている。

広島県保健環境センター  
高尾信一 島津幸枝 宮崎佳都夫  
広島県感染症情報センター  
畑本典昭  
神垣小児科  
神垣昌人

(IASR 2006年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

### インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年9月25日 - 更新32

インドネシア保健省は、さらに2名のH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確定した。患者はともに死亡している。

第1例目は東ジャワ州の11歳少年である。9月16日に発熱と咳の症状を呈し、18日に入院し、その日に死亡した。発症する前の月に自宅で飼っていた家禽が死亡し始めており、家の近所ではその後も家禽の死亡が続いていた。

第2例目は南ジャカルタの9歳少年である。9月13日に発熱と鼻水の症状を呈し、20日に入院し、22日に死亡した。接触調査により、ペットとして飼っていた病気の鶏と最近接触していることが判明した。

インドネシアでこれまで確認された67例のうち、51例が死亡している。

WHO/EPR 2006年9月27日 - 更新33

インドネシア保健省は、国内で68例目となるH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確定した。患者は西ジャワ州バンドンの20歳男性である。9月17日に発熱と咳を呈し、9月24日に入院したが、現在も入院中である。

24歳になるこの患者の兄が9月16日に発症した。9月24日、入院後2時間で呼吸器疾患により死亡した。H5N1感染が疑われたが、検査用の検体が採取されず、確認できなかった。2名の患者はともに、飼い犬に鶏の死体を餌として与える際に直接接触していた。地方農業当局はまた、家族が飼っていた鳥にH5感染の証拠を見つけている。

この兄弟の3番目の15歳妹が発熱と咳を呈し、9月25日に入院した。9月27日に報告された初期の検査結果では、H5亜型は陰性、H1亜型陽性であり、これは通常の季節的なインフルエンザ感染を示している。患者は未だ入院中で、病状は安定している。

インドネシアでこれまで確認された68名のうち、51名が死亡している。

WHO/EPR 2006年9月28日 - 更新34

インドネシア保健省は、国内で52例目となるH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染による死亡者を確定した。この20歳の男性は、鳥インフルエンザに感染したことが9月27日に発表されているが、9月28日早朝に死亡した。

インドネシアでこれまで確認された68名のうち、52名が死亡している。

### タイでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年9月27日 - 更新2

タイ保健省は、国内で25例目となるH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確定した。この患者は死亡したが、本年3例目の患者で、3例目の死亡例である。

患者は、タイ北東部のノンブアランプー県の59歳農夫である。7月14日に発熱し、7月24日に入院し、8月10日に重症の肺炎で死亡した。親族は、患者が発症する何日か前に、本人が飼育していた数羽の闘鶏が突然死亡したことを報告しており、H5N1感染の可能性が疑われていた。地方獣医当局は、この地域で家禽の感染流行が多数おきていることに気づいていた。



患者は、抗インフルエンザ薬のオセルタミビルによる治療を受けた。患者の上気道から採取された検体は、そのほとんどが抗ウイルス治療開始後のものであり、PCR法で繰り返しH5N1を含む全てのA型インフルエンザウイルスの検査を行ったが、陰性であった。結局、検死時の肺検体からウイルスが分離された。

タイでこれまで確認された25名のうち、17名が死亡している。

タイでの家禽における感染流行は、2005年11月9日以降には沈静化していたが、本年7月下旬に2つの県で確認されている。



## 感染症の話

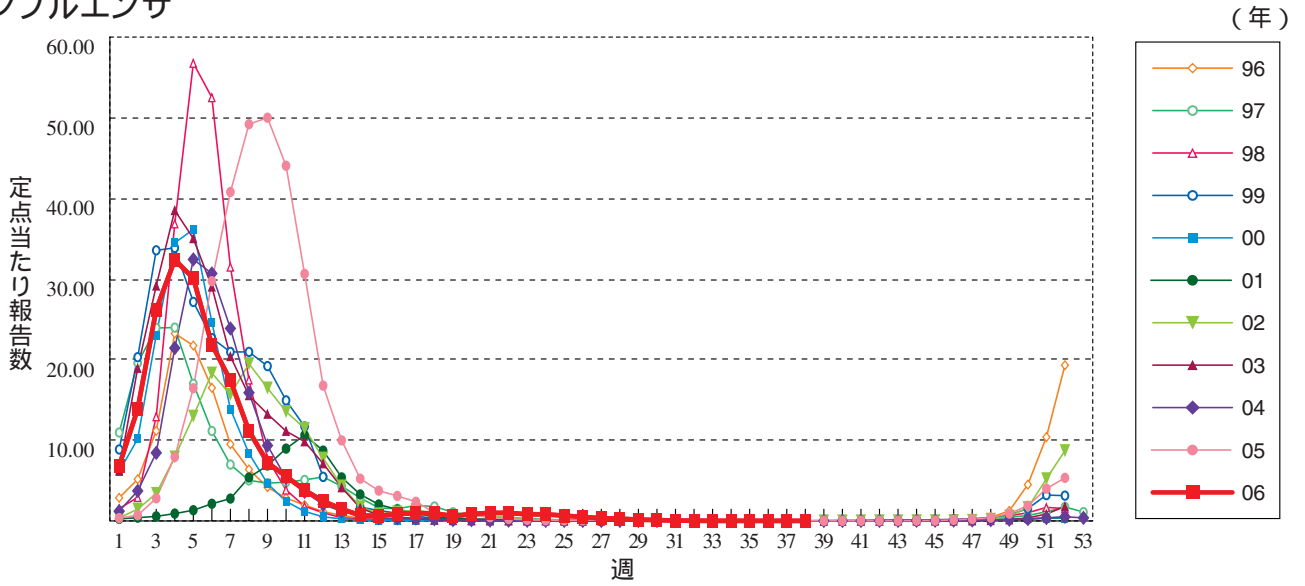
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

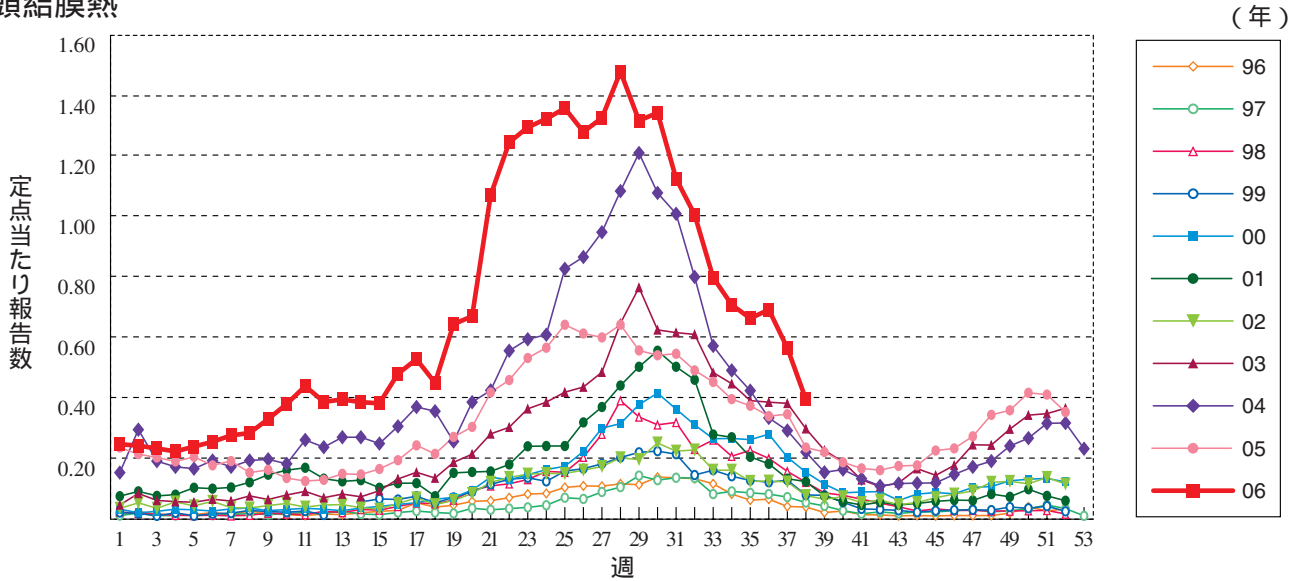
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧( 38週 )**

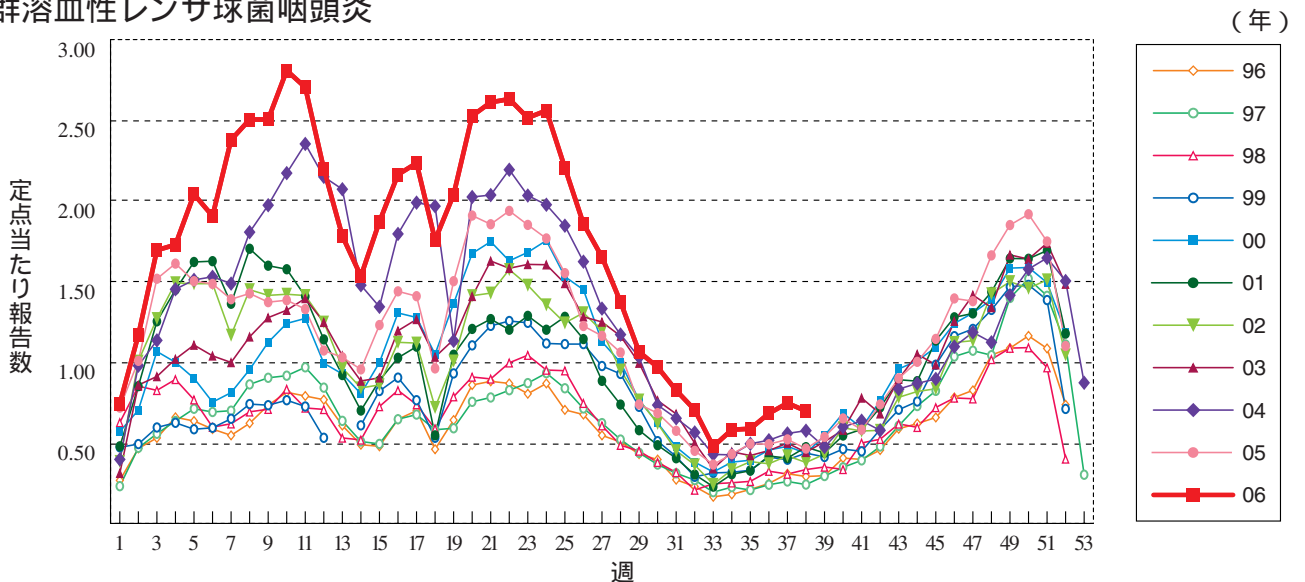
**インフルエンザ**



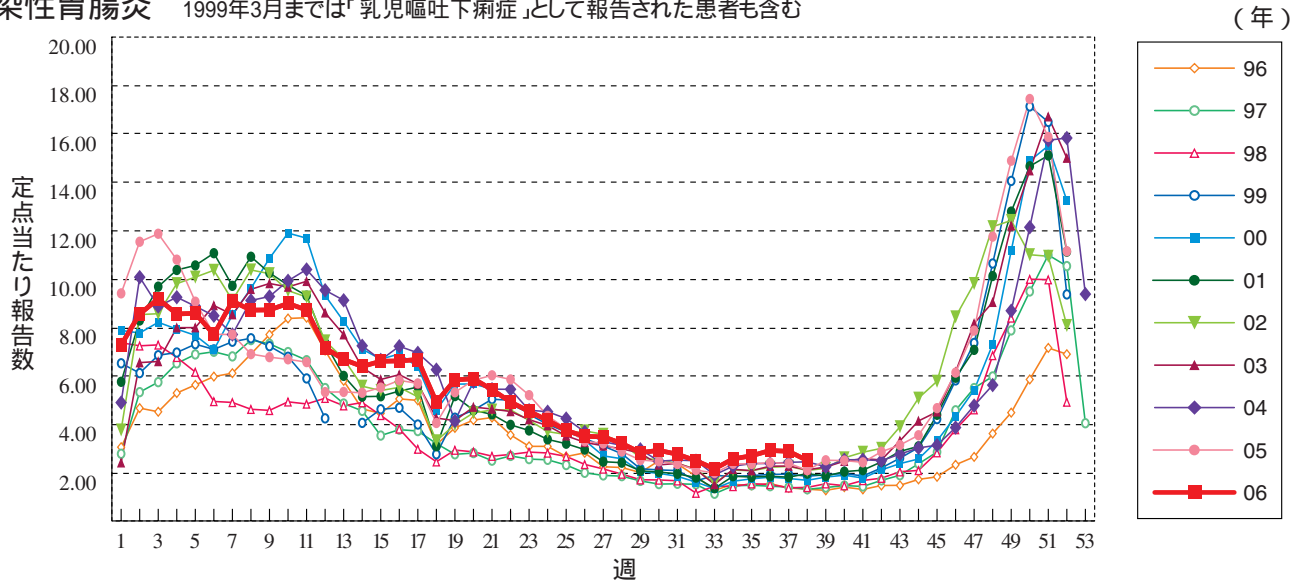
**咽頭結膜熱**



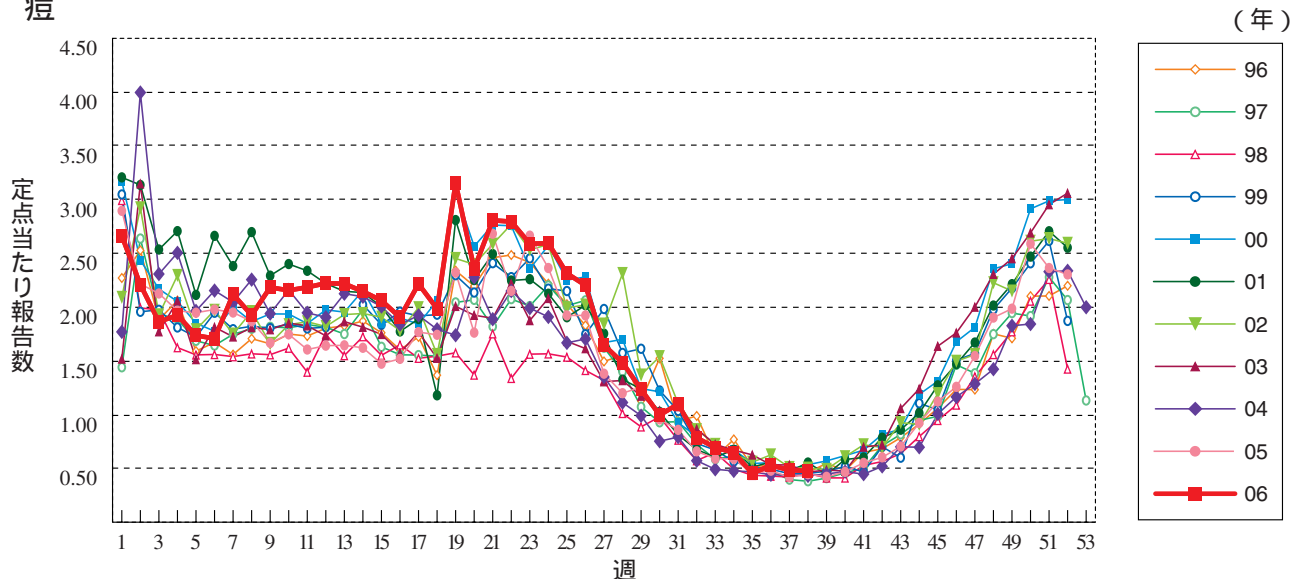
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



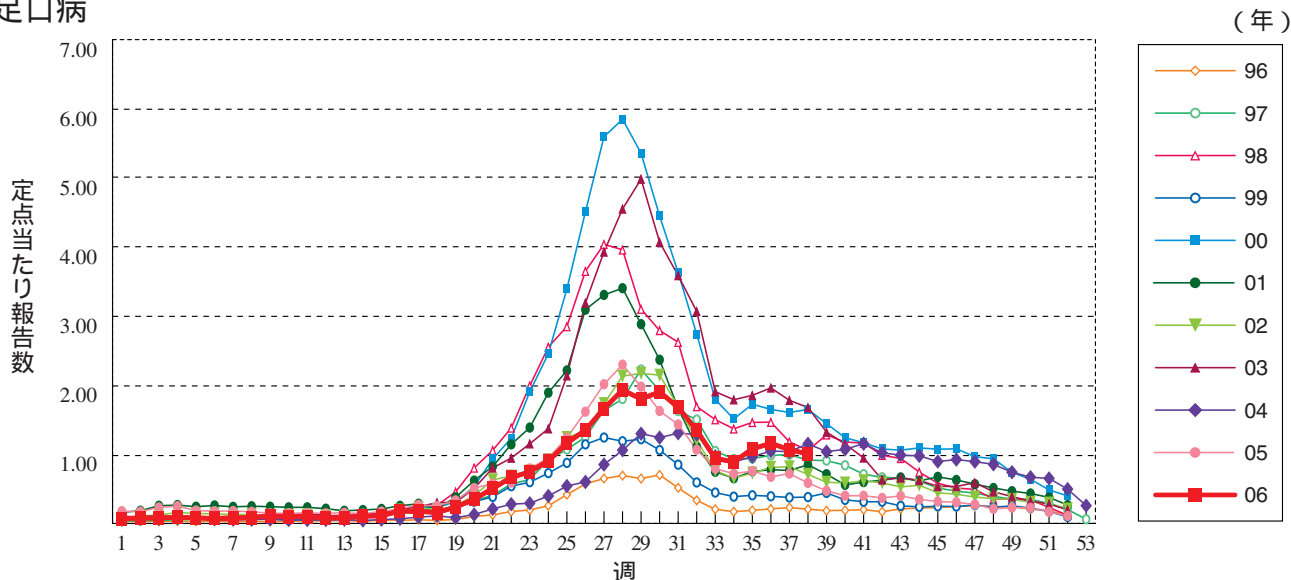
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



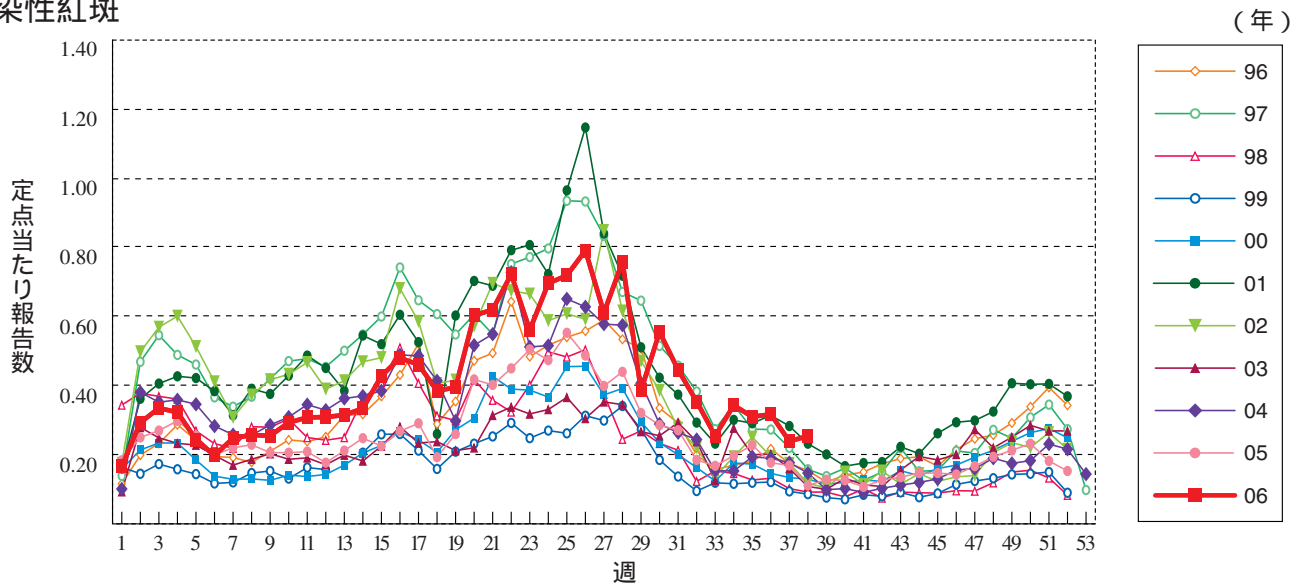
**水痘**



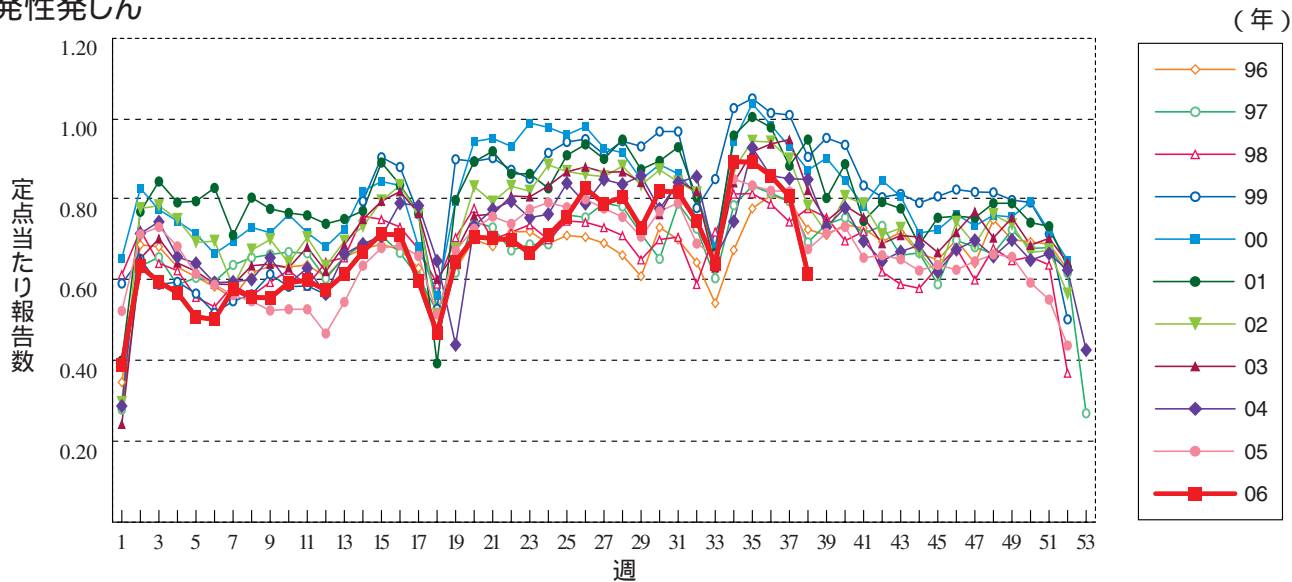
**手足口病**



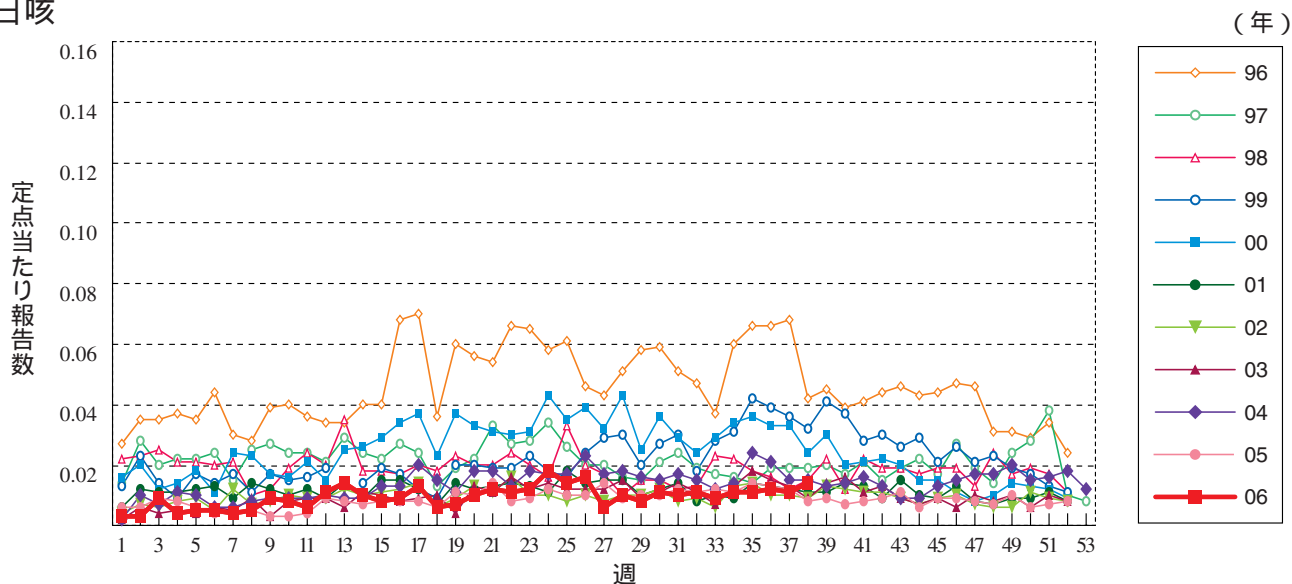
伝染性紅斑



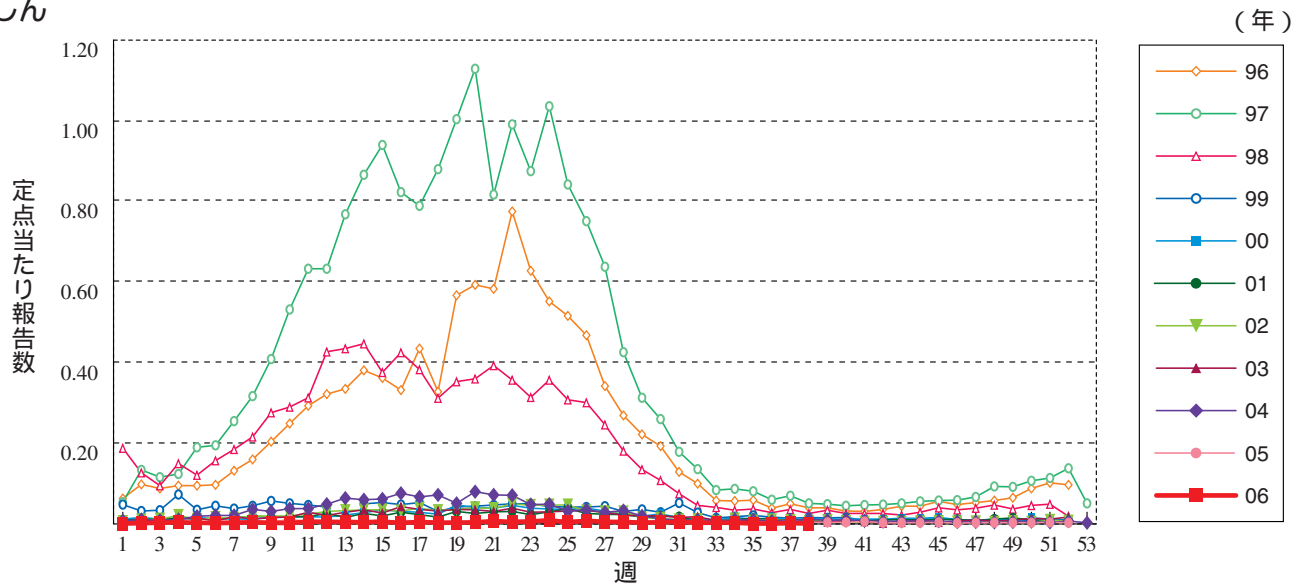
突発性発しん



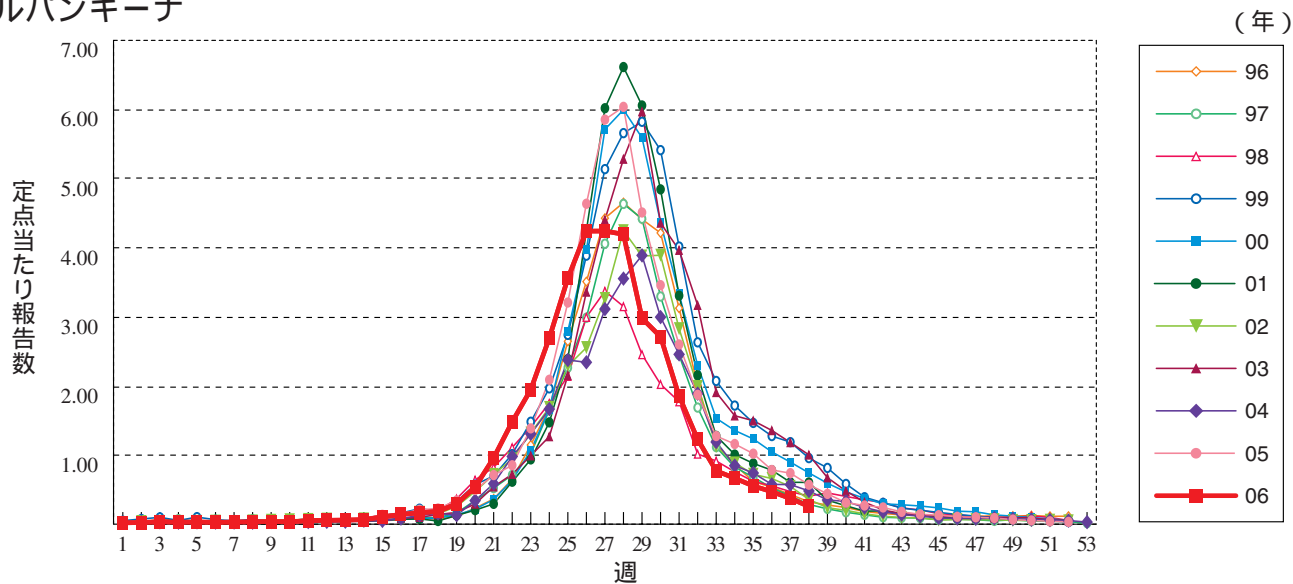
百日咳



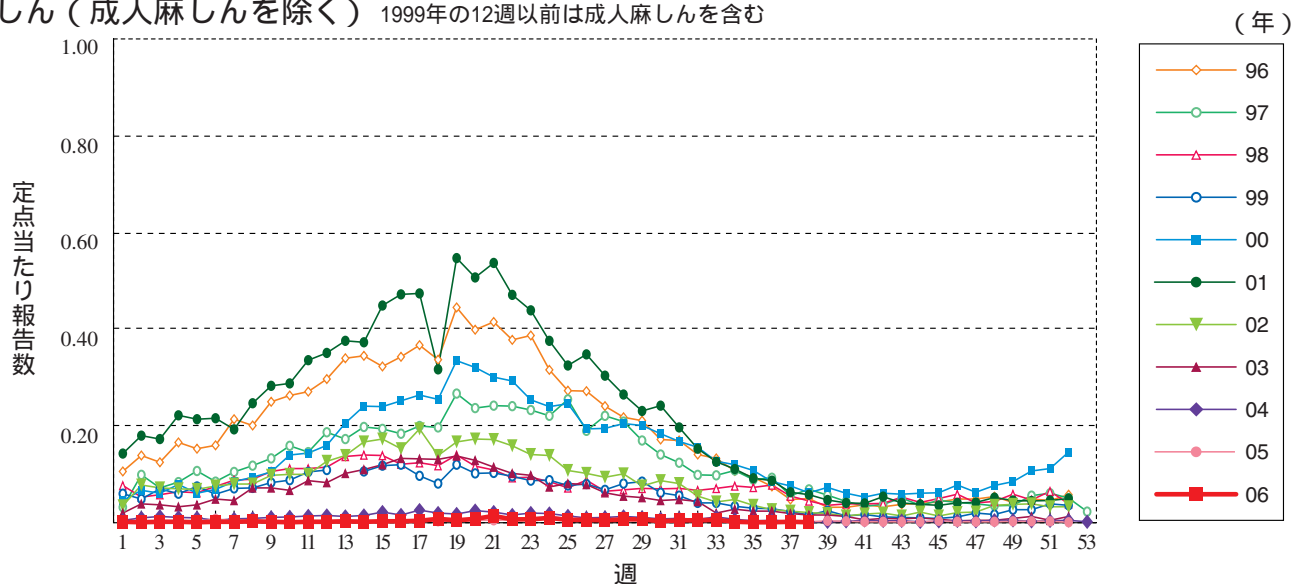
風しん



ヘルパンギーナ

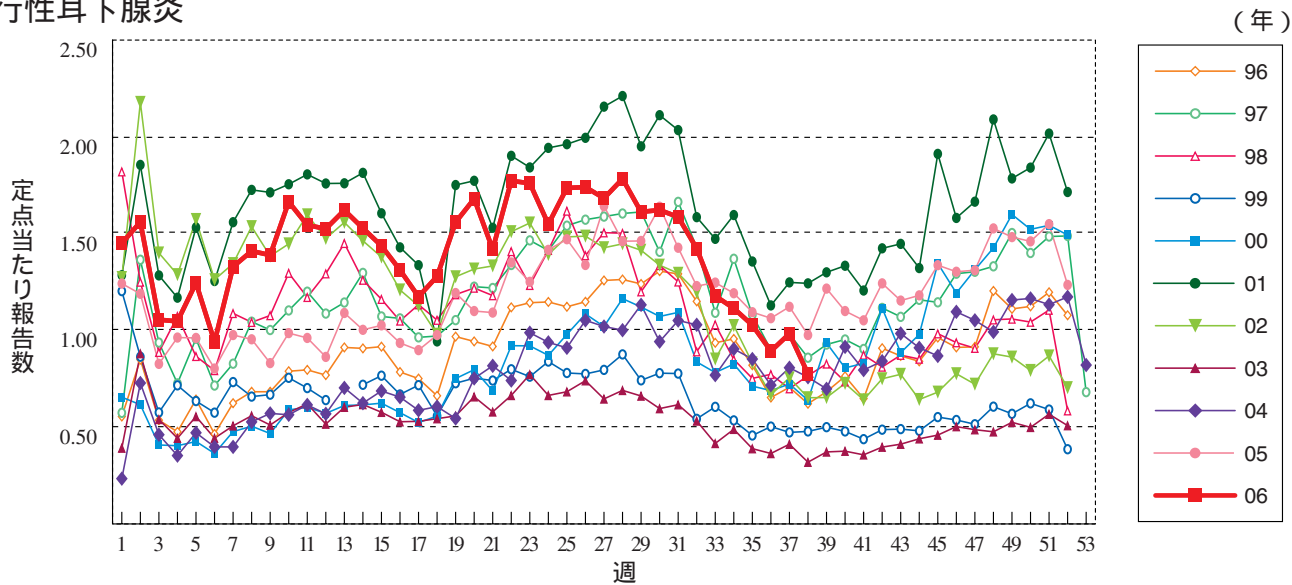


麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む

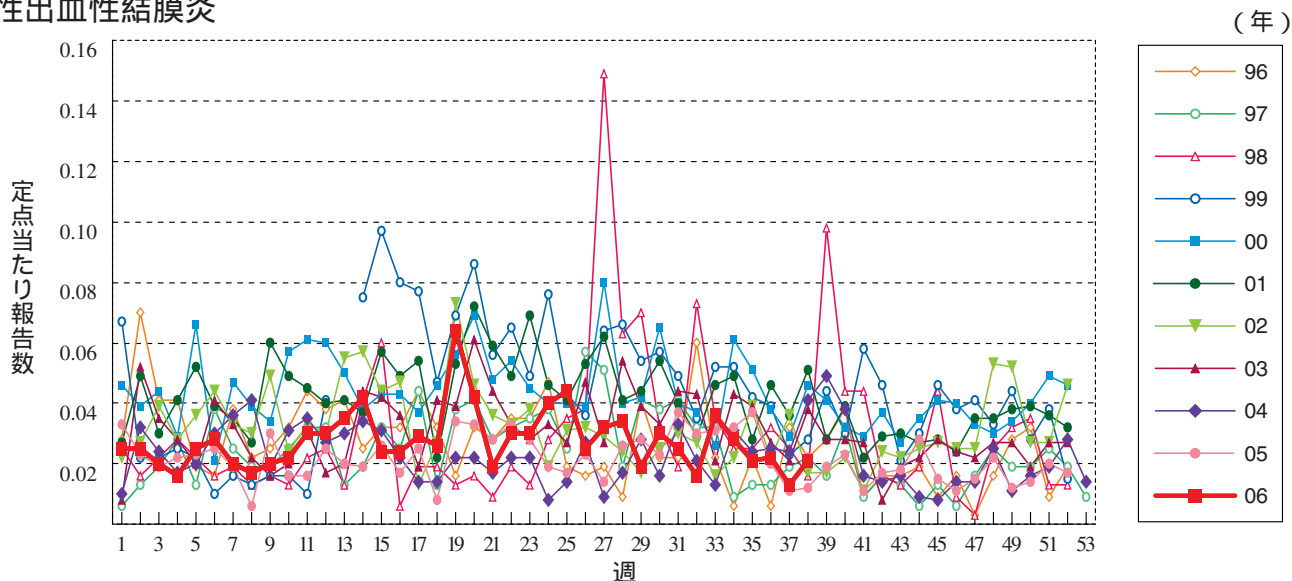




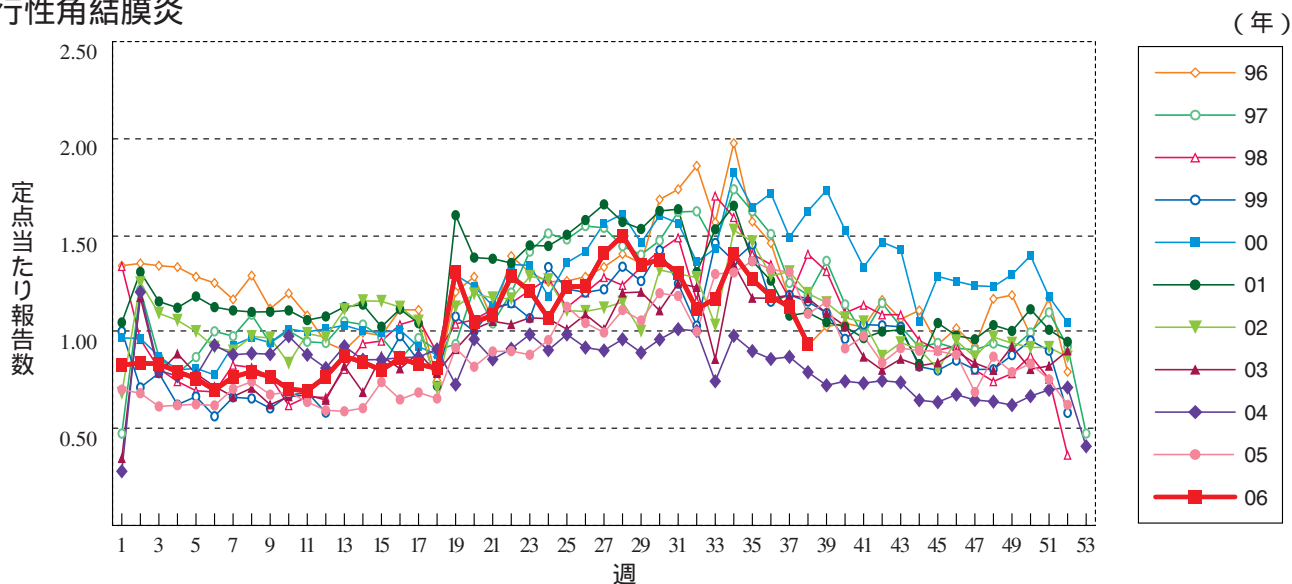
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

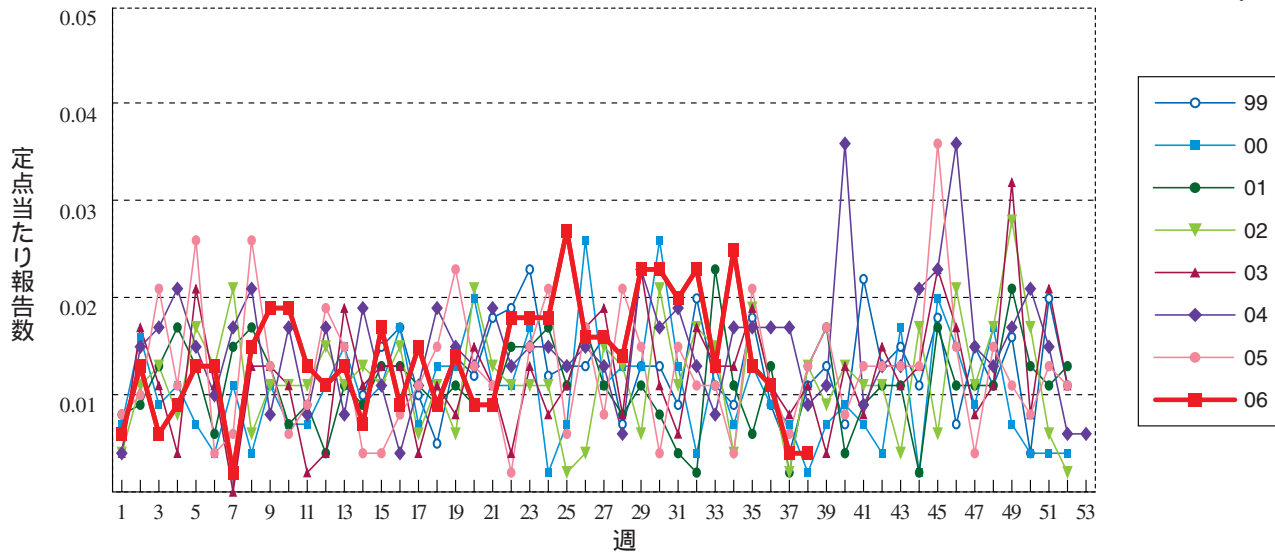


流行性角結膜炎



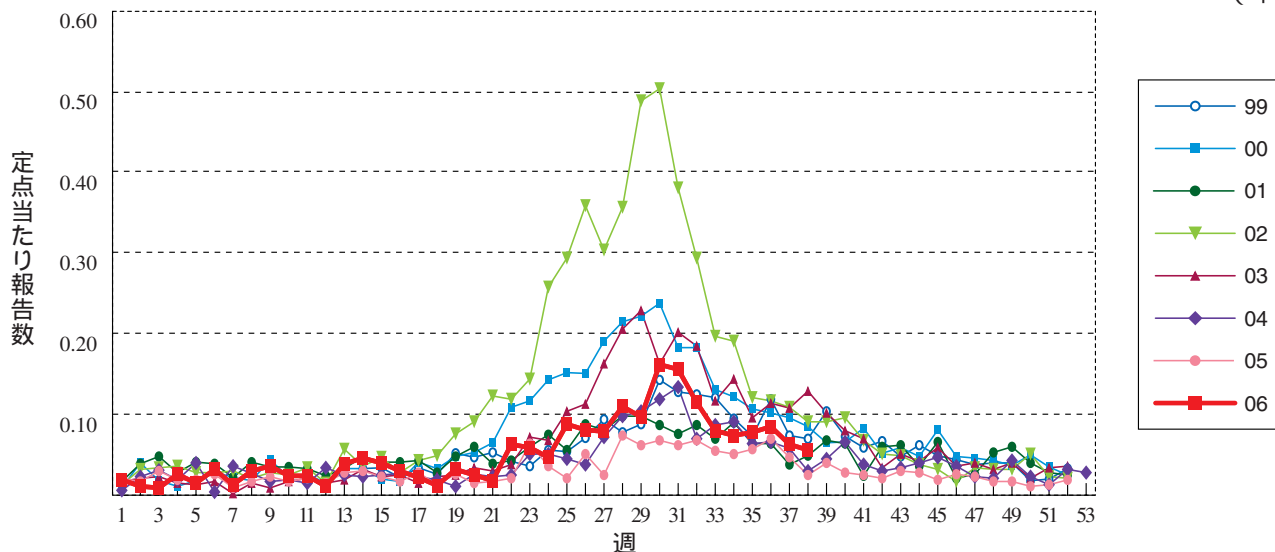
細菌性髄膜炎

(年)



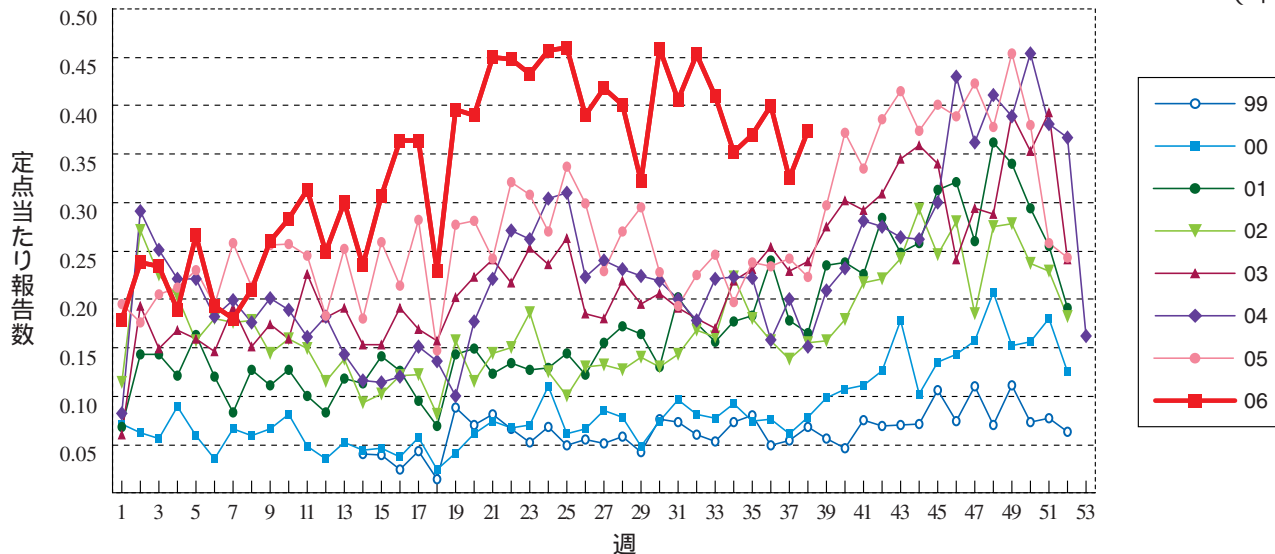
無菌性髄膜炎

(年)



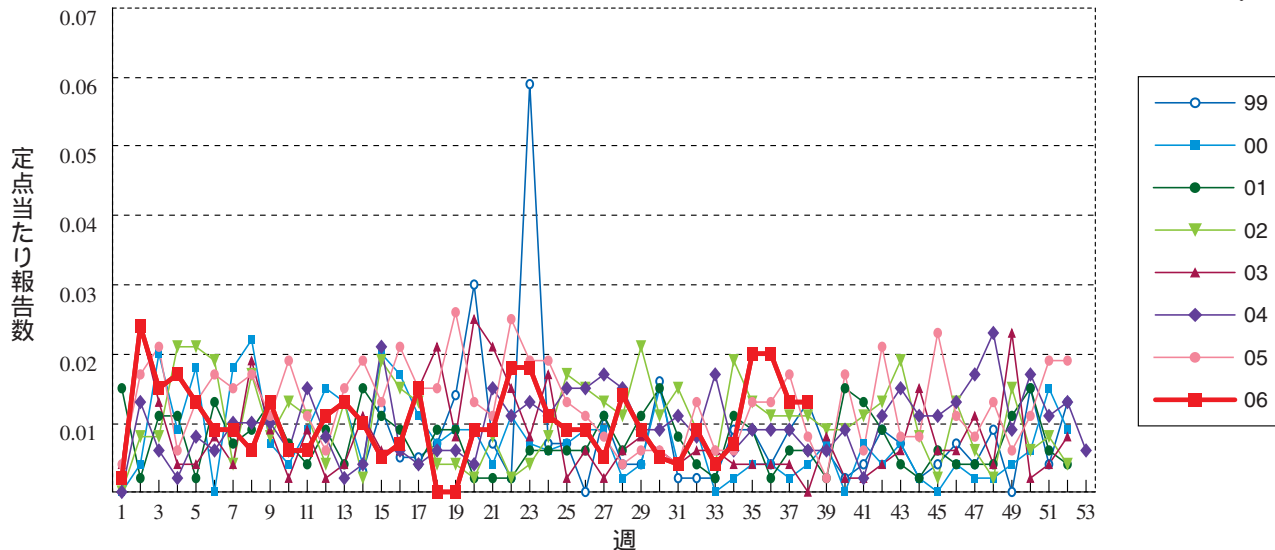
マイコプラズマ肺炎

(年)



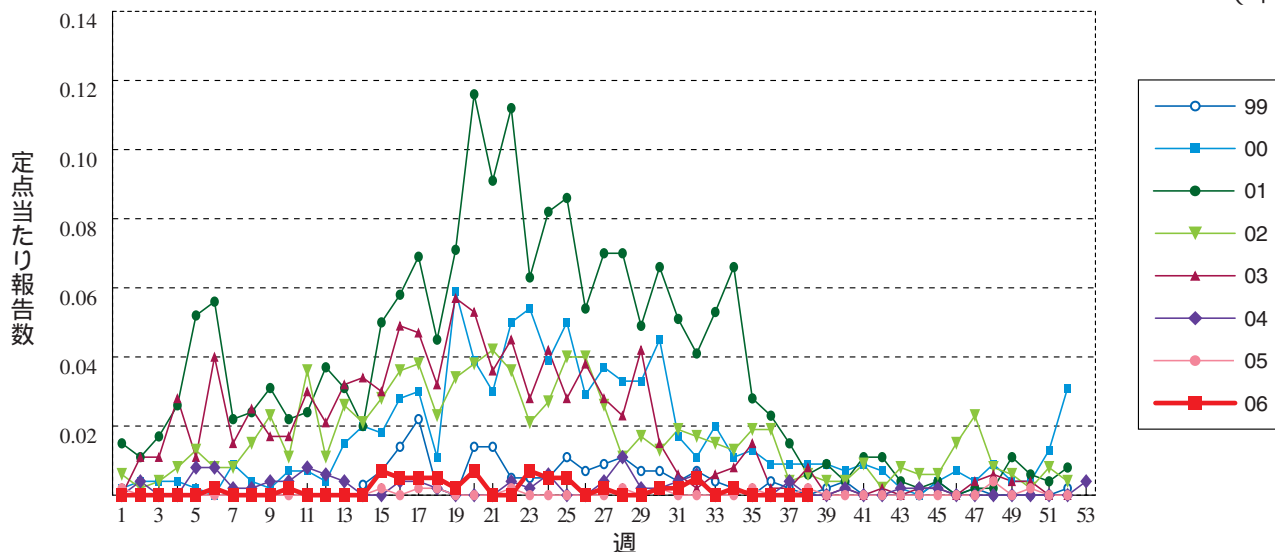
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



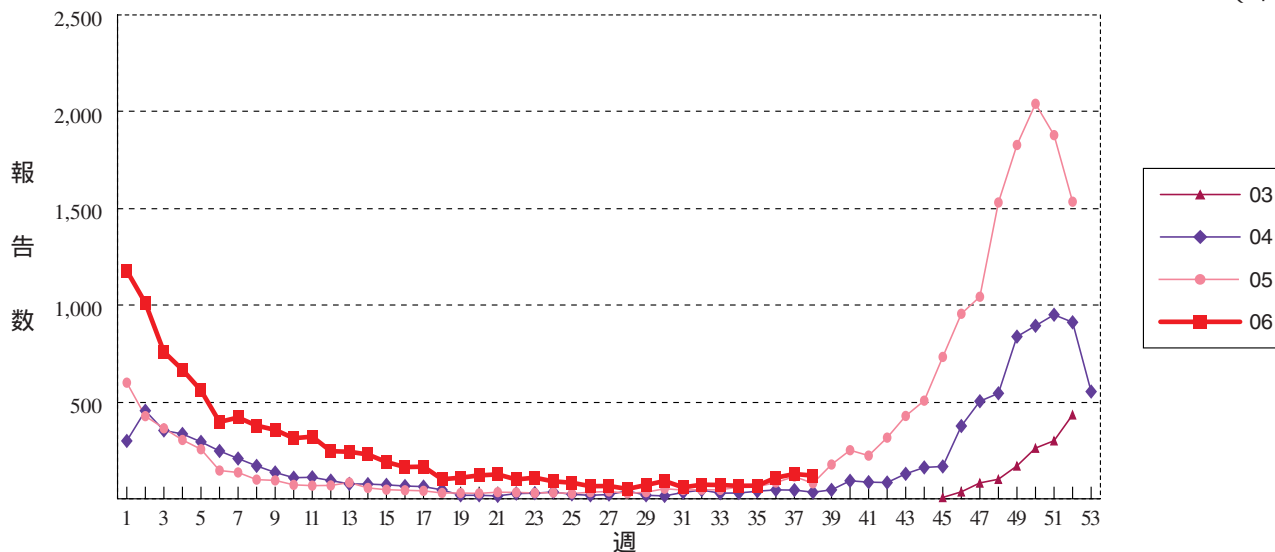
成人麻しん

( 年 )



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

( 年 )





### 38週のデータ

注1)表中の報告数は9月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。  
 注2)また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。  
 \*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	14	344	-	-	-	54	-	19	96	3002	-	53	-	-	2	275	-	17
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	1	54	-	15	-	-	-	13	-	16
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	48	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	62	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	43	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	68	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	35	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	1	-	-	3	22	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	13	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	117	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	9	-	-	-	4	-	-	3	84	-	-	-	-	-	9	-	-
千葉県	1	58	-	-	-	4	-	1	4	104	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	-	43	-	-	-	16	-	11	5	201	-	3	-	-	-	25	-	-
神奈川県	-	19	-	-	-	7	-	1	3	150	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	10	-	-	-	1	-	-	1	31	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	100	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	9	11	-	-	-	-	-	-	1	58	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	1	2	34	-	3	-	-	1	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	3	-	-	-	1	-	-	14	78	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	22	-	-	-	4	-	2	7	163	-	3	-	-	-	15	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	29	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	20	-	-
京都府	-	2	-	-	-	1	-	-	4	72	-	2	-	-	-	9	-	-
大阪府	4	78	-	-	-	6	-	2	2	226	-	-	-	-	-	39	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	1	2	125	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	1	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	103	-	1	-	-	-	14	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	81	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	20	-	-	-	2	-	-	4	148	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	19	73	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	56	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	73	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	16	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	176	-	38	-	-	2	26	-	1	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	47	-	-	-	8	-	-	12	364	1	10	9	551
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	15
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	1	9
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	22
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	11	-	-	-	28
東京都	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	1	49	-	4	1	140
神奈川県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	1	59
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	2	20	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	1	13
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	1	37
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	18
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	71
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	15	1	1	1	30
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。  
 \*\*ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	188	-	125	-	11	2	123	-	88	11	937	-	64	-	11	-	-
北海道	-	4	-	5	-	2	-	7	-	6	-	22	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	-	23	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	7	-	-	-	5	-	3	-	27	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	15	-	-	-	4	-	6	-	40	-	1	-	-	-	-
東京都	-	28	-	5	-	5	-	12	-	12	4	305	-	20	-	1	-	-
神奈川県	-	9	-	4	-	1	-	6	-	4	1	59	-	10	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	2	-	-	-	4	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
長野県	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	-	19	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	2	-	-	-	4	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	8	-	-	1	6	-	8	1	75	-	2	-	1	-	-
三重県	-	9	-	3	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	4	-	2	-	25	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	19	-	10	-	1	-	9	-	5	1	99	-	10	-	1	-	-
兵庫県	1	21	-	4	-	-	-	4	-	7	1	40	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	11	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	4	-	1	-	7	-	2	-	-	-	-
広島県	-	6	-	10	-	-	-	4	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	1	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
高知県	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	6	-	9	-	-	1	6	-	-	2	25	-	3	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	448	1	84	-	-	1	52	-	-
北海道	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	5	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	11	-	7	-	-	-	2	-	-
東京都	2	95	-	6	-	-	1	10	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	4	-	3	-	-	-	2	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	9	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	1	34	1	4	-	-	-	-	-	-
三重県	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	28	-	2	-	-	-	3	-	-
兵庫県	1	18	-	2	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	25	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	30	-	4	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	16	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-

\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	29	0.01	1185	0.40	2084	0.70	7476	2.50	1425	0.48	3009	1.01	758	0.25	1840	0.62	43	0.01
北海道	-	-	29	0.20	208	1.45	144	1.01	74	0.52	226	1.58	16	0.11	60	0.42	-	-
青森県	-	-	1	0.02	5	0.12	35	0.83	25	0.60	18	0.43	10	0.24	18	0.43	-	-
岩手県	-	-	-	-	14	0.36	63	1.62	12	0.31	9	0.23	8	0.21	21	0.54	-	-
宮城県	1	0.01	18	0.30	51	0.84	134	2.20	34	0.56	62	1.02	36	0.59	43	0.70	1	0.02
秋田県	-	-	21	0.60	26	0.74	98	2.80	18	0.51	55	1.57	4	0.11	24	0.69	-	-
山形県	-	-	10	0.33	36	1.20	33	1.10	12	0.40	42	1.40	3	0.10	22	0.73	-	-
福島県	-	-	15	0.31	92	1.92	118	2.46	23	0.48	68	1.42	7	0.15	29	0.60	-	-
茨城県	-	-	35	0.47	62	0.84	92	1.24	28	0.38	25	0.34	21	0.28	27	0.36	3	0.04
栃木県	-	-	3	0.07	15	0.33	39	0.85	17	0.37	51	1.11	5	0.11	25	0.54	3	0.07
群馬県	-	-	18	0.29	54	0.87	146	2.35	50	0.81	80	1.29	10	0.16	45	0.73	2	0.03
埼玉県	-	-	67	0.42	121	0.75	431	2.68	127	0.79	240	1.49	67	0.42	104	0.65	1	0.01
千葉県	-	-	30	0.25	67	0.56	237	1.99	42	0.35	65	0.55	38	0.32	77	0.65	10	0.08
東京都	1	0.01	49	0.35	76	0.54	317	2.25	50	0.35	143	1.01	33	0.23	83	0.59	-	-
神奈川県	2	0.01	43	0.23	136	0.71	466	2.44	69	0.36	221	1.16	43	0.23	155	0.81	4	0.02
新潟県	-	-	25	0.41	53	0.87	85	1.39	32	0.52	224	3.67	10	0.16	39	0.64	-	-
富山県	-	-	20	0.69	30	1.03	96	3.31	11	0.38	49	1.69	10	0.34	19	0.66	-	-
石川県	-	-	14	0.48	29	1.00	100	3.45	27	0.93	99	3.41	6	0.21	21	0.72	-	-
福井県	-	-	4	0.18	24	1.09	110	5.00	16	0.73	31	1.41	3	0.14	6	0.27	-	-
山梨県	-	-	5	0.21	4	0.17	33	1.38	5	0.21	51	2.13	4	0.17	6	0.25	-	-
長野県	-	-	72	1.31	42	0.76	116	2.11	21	0.38	214	3.89	12	0.22	27	0.49	-	-
岐阜県	4	0.05	24	0.45	21	0.40	50	0.94	23	0.43	49	0.92	36	0.68	18	0.34	-	-
静岡県	-	-	42	0.49	57	0.66	339	3.94	33	0.38	111	1.29	30	0.35	63	0.73	-	-
愛知県	-	-	73	0.40	121	0.66	322	1.77	81	0.45	149	0.82	105	0.58	126	0.69	3	0.02
三重県	-	-	74	1.64	27	0.60	223	4.96	25	0.56	40	0.89	17	0.38	37	0.82	-	-
滋賀県	-	-	7	0.22	8	0.25	26	0.81	16	0.50	55	1.72	6	0.19	6	0.19	-	-
京都府	-	-	17	0.25	59	0.86	162	2.35	17	0.25	41	0.59	19	0.28	23	0.33	3	0.04
大阪府	1	0.01	74	0.40	119	0.64	535	2.89	74	0.40	89	0.48	38	0.21	108	0.58	4	0.02
兵庫県	-	-	24	0.19	60	0.47	325	2.54	50	0.39	68	0.53	24	0.19	92	0.72	1	0.01
奈良県	-	-	14	0.40	14	0.40	53	1.51	10	0.29	6	0.17	1	0.03	18	0.51	-	-
和歌山県	-	-	18	0.58	6	0.19	59	1.90	21	0.68	27	0.87	12	0.39	25	0.81	2	0.06
鳥取県	-	-	13	0.68	34	1.79	74	3.89	9	0.47	5	0.26	2	0.11	14	0.74	-	-
島根県	-	-	6	0.26	5	0.22	108	4.70	10	0.43	7	0.30	-	-	21	0.91	-	-
岡山県	1	0.01	12	0.22	11	0.20	160	2.96	27	0.50	14	0.26	12	0.22	25	0.46	-	-
広島県	3	0.03	29	0.40	36	0.50	258	3.58	31	0.43	7	0.10	12	0.17	45	0.63	1	0.01
山口県	-	-	10	0.20	39	0.80	177	3.61	10	0.20	8	0.16	6	0.12	37	0.76	-	-
徳島県	-	-	6	0.33	14	0.78	19	1.06	15	0.83	3	0.17	14	0.78	8	0.44	-	-
香川県	-	-	14	0.44	13	0.41	80	2.50	21	0.66	8	0.25	3	0.09	16	0.50	-	-
愛媛県	2	0.03	2	0.05	37	1.00	92	2.49	30	0.81	41	1.11	4	0.11	35	0.95	-	-
高知県	-	-	37	1.23	8	0.27	91	3.03	11	0.37	19	0.63	1	0.03	23	0.77	-	-
福岡県	-	-	44	0.37	88	0.73	418	3.48	70	0.58	53	0.44	20	0.17	75	0.63	4	0.03
佐賀県	1	0.03	8	0.35	15	0.65	40	1.74	13	0.57	22	0.96	7	0.30	19	0.83	-	-
長崎県	-	-	33	0.75	6	0.14	121	2.75	19	0.43	8	0.18	8	0.18	15	0.34	-	-
熊本県	-	-	19	0.40	21	0.44	267	5.56	22	0.46	32	0.67	5	0.10	41	0.85	-	-
大分県	-	-	39	1.08	38	1.06	177	4.92	30	0.83	23	0.64	5	0.14	29	0.81	-	-
宮崎県	3	0.05	26	0.70	63	1.70	153	4.14	27	0.73	46	1.24	17	0.46	38	1.03	1	0.03
鹿児島県	3	0.03	23	0.41	8	0.14	148	2.64	26	0.46	26	0.46	6	0.11	22	0.39	-	-
沖縄県	7	0.12	18	0.53	11	0.32	106	3.12	11	0.32	79	2.32	2	0.06	10	0.29	-	-

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2	0.00	767	0.26	3	0.00	2321	0.78	13	0.02	591	0.94	2	0.00	25	0.06	168	0.37
北海道	1	0.01	64	0.45	-	-	100	0.70	-	-	12	0.41	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	9	0.21	-	-	35	0.83	-	-	5	0.45	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	14	0.36	-	-	49	1.26	-	-	9	0.75	-	-	-	-	7	0.35
宮城県	-	-	52	0.85	-	-	33	0.54	-	-	2	0.17	-	-	-	-	12	1.00
秋田県	-	-	30	0.86	1	0.03	11	0.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	10	0.33	-	-	11	0.37	-	-	2	0.25	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	22	0.46	-	-	61	1.27	-	-	8	0.67	-	-	-	-	1	0.17
茨城県	-	-	8	0.11	-	-	35	0.47	2	0.14	19	1.36	-	-	-	-	6	0.86
栃木県	-	-	5	0.11	-	-	54	1.17	-	-	34	2.83	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	20	0.32	-	-	74	1.19	-	-	47	3.36	-	-	1	0.13	6	0.75
埼玉県	-	-	44	0.27	-	-	98	0.61	1	0.03	32	0.80	1	0.11	-	-	4	0.44
千葉県	1	0.01	11	0.09	-	-	36	0.30	-	-	21	0.70	-	-	1	0.13	3	0.38
東京都	-	-	38	0.27	-	-	53	0.38	-	-	12	0.86	-	-	-	-	6	0.24
神奈川県	-	-	50	0.26	-	-	82	0.43	-	-	40	1.00	-	-	2	0.25	4	0.50
新潟県	-	-	11	0.18	-	-	180	2.95	-	-	3	0.30	-	-	2	0.18	11	1.00
富山県	-	-	8	0.28	-	-	30	1.03	-	-	12	1.71	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	3	0.10	-	-	17	0.59	-	-	5	0.71	-	-	1	0.20	-	-
福井県	-	-	5	0.23	-	-	5	0.23	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	6	0.25	-	-	26	1.08	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	22	0.40	-	-	114	2.07	-	-	25	2.27	-	-	2	0.18	3	0.27
岐阜県	-	-	4	0.08	-	-	23	0.43	-	-	5	0.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	36	0.42	-	-	67	0.78	-	-	14	0.70	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	-	-	38	0.21	-	-	112	0.62	1	0.03	23	0.66	-	-	-	-	7	0.54
三重県	-	-	10	0.22	-	-	52	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.50
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	7	0.22	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	11	0.16	1	0.01	19	0.28	-	-	17	1.00	-	-	2	0.29	4	0.57
大阪府	-	-	50	0.27	-	-	129	0.70	-	-	25	0.58	-	-	1	0.08	17	1.42
兵庫県	-	-	19	0.15	-	-	152	1.19	-	-	34	0.97	-	-	2	0.17	2	0.17
奈良県	-	-	3	0.09	-	-	8	0.23	-	-	4	0.44	-	-	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	24	0.77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	-	-	18	0.95	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	8	0.35	-	-	38	1.65	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	-	-	35	0.65	-	-	11	0.92	1	0.20	-	-	2	0.40
広島県	-	-	7	0.10	-	-	31	0.43	-	-	13	0.68	-	-	1	0.05	6	0.29
山口県	-	-	14	0.29	-	-	53	1.08	-	-	17	1.89	-	-	-	-	8	0.89
徳島県	-	-	1	0.06	-	-	27	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.09	-	-	24	0.75	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	7	0.19	-	-	21	0.57	-	-	29	3.63	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	14	0.47	-	-	13	0.43	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	38	0.32	-	-	75	0.63	2	0.08	35	1.35	-	-	1	0.07	5	0.33
佐賀県	-	-	10	0.43	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33
長崎県	-	-	4	0.09	-	-	22	0.50	3	0.38	6	0.75	-	-	1	0.08	4	0.33
熊本県	-	-	20	0.42	-	-	31	0.65	-	-	16	1.78	-	-	1	0.07	3	0.20
大分県	-	-	6	0.17	-	-	66	1.83	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	13	0.35	-	-	56	1.51	2	0.50	7	1.75	-	-	2	0.29	3	0.43
鹿児島県	-	-	3	0.05	-	-	96	1.71	-	-	6	0.86	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	4	0.12	1	0.03	13	0.38	2	0.20	16	1.60	-	-	-	-	7	1.00



報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年38週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	6	0.01	-	-	120
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	1	0.13	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	3
千葉県	1	0.13	-	-	-
東京都	-	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.18	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	16
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	43
佐賀県	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	7
宮崎県	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	7

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年38週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年38週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第38号 2006年10月6日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。